事業所自己評価シート

令和　５年度

職員による自己評価

Ａ環境面

・利用者の人数によっては狭さを感じる。

・適切な人員配置が出来ているが送迎の兼ね合いによって一時的に不足を感じる時間もある。

Ｂ児童への支援内容

・定期的な面談を実施し計画書を作成している。

・活動プログラム、レクリエーション等各担当者で話し合い立案している。

・定時ミーティング、引き継ぎノート等を活用し情報共有を行っている。

Ｃ関係機関との連携

・保護者とは送迎時の口伝や連絡帳を活用し情報共有をしている他、定期的な面談でも助言等を行っている。

・学校とは児童についての情報、送迎時間、連絡調整が出来ている。送迎時当日の様子等確認している。

・他事業所や外部の関連機関との交流は出来ていない。

Ｄ保護者への説明責任・信頼関係

・運営規定や支援内容等について契約や面談等で適宜説明できており、相談や苦情等についても事業所内で共有し対応している。

・保護者会や地域の方との交流の機会は持てていない。

Ｅ非常対応

・各種非常対応マニュアルはあるが周知が十分とは言えない。

・避難訓練は年２回実施している。

・虐待研修を年に数回外部研修も含め実施している。

・アレルギーについては契約時に確認し、全職員で共有している。

・ヒヤリハットが発生した場合にはヒヤリハット報告書を活用し職員間で共有している。

保護者による評価

Ａ環境面

・活動スペースは十分だがもう少し広いと尚良い。

・職員は専門的視点で対応してくれている。

・エレベーターがあり、化粧室も広い。

Ｂ児童への支援内容

・保護者の意見を聞き取り、課題を見つけてしっかりとした計画書が作られている。

・常に楽しめる活動プログラムを企画してくれている。

・障害のない子どもとの活動機会についてはわからないが機会があればやって欲しい。

Ｃ事業所からの情報発信

・支援の内容、日頃の児童の様子はよく共有されている。情報を詳しく伝えてもらえるのでご家庭でも同じように対応する事ができる。

・面談や送迎時に相談出来ている。

・苦情対応、保護者や児童との情報伝達は適切に行われている。

・HP で支援の様子が見られる。

・LINE での連絡が出来るようになり助かっている。

Ｄ非常対応

・HP で避難訓練の様子が分かる。

・避難訓練を実施していると聞いている。

事業所内での分析

【共通点】

・環境面では、必要な環境は整っているがスペースがもう少しあるとよい。

・児童への支援内容では、面談で保護者から聞き取った内容を支援計画に落とし込めている。活動プログラムに関しても利用者が楽しめるものを提供できている。

・保護者への説明責任及び事業所からの情報発信では、支援内容や日常の利用者の様子について保護者としっかり共有が計れている。苦情対応、相談についても適宜対応出来ている。

【相違点】

・非常対応について、避難訓練を実施しているが内容が伝わりきっていない。

・関連機関や地域との交流の機会が十分に設けられていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

・保護者との信頼関係が出来ている。

・利用者が楽しめる活動プログラムを構築できる体制が出来ている。

・保護者との情報共有や相談、苦情対応等を密に行えている。

・日々の支援内容についてHPや送迎時の口伝でしっかりお伝えできている。

・職員間での情報共有をこまめに実施できている。

事業所の改善点

・関連機関や地域、外部との交流機会を作れるよう連携していく。

・非常対応や避難訓練について発信の仕方を工夫し、より細かく周知出来るようにしていく。

事業所の改善への取り組み

・関連機関との連携強化…地域のイベントに参加したり、協議会や交流会に参加し、外部機関との繋がりを作る。

・非常対応の情報発信…利用者向けの非常時対応手順書の作成。避難訓練実施についての広報等HP以外の情報発信ツールの策定。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

当事業所について保護者の方々に意見を頂ける貴重な機会となりました。回答頂いた意見について、事業所が提供できている部分については概ね好評頂いていて安心しました。一方で回答率は5割程に留まっており潜在的にはまだまだ色々な意見があると考えられ、そうした意見を聞き洩らさぬよう日々のコミュニケーションが大切だと感じました。今回頂いた意見を参考に、不足している部分はしっかりと改善し、評価して頂けている部分についてもより良くしていけるようにしていきたいと思っております。今後も利用者様、保護者様が安心してご利用出来、職員が働きやすい環境を整えられるよう努めていきます。

事業所名　ライズ児童デイサービス港南台キッズ

担当者　　五十嵐　大樹